

第5学年 体育科 「目指せ ONE TEAM ～ボール運動（ゴール型）～」
 学習指導者 山本 健太

<p>主張点</p>	<p>初めのリーグ戦のデータを基に、2回目のリーグ戦に向けてチームの課題を分析・改善する時間を位置付け、意欲的に課題解決に取り組めるようにしました。</p>
<p>前時までの学び</p>	<p>子供たちは、ファーストリーグを行う中で、ボールを持つ人がランをしたりパスをしたりするだけでなく、フリーの人がサポートを行うことで攻撃ができることを学んでいる。セカンドリーグに向けて、自分のチームの特徴を知りたい、考えた作戦がうまくいくように練習したいという思いを高めている。</p>
<p>〈課題設定以前〉 1 学習課題を確認する。</p> <hr/> <p>〈課題解決中〉 2 データを基に自己やチームの特徴を捉え、作戦について話し合う。</p> <p>3 練習試合を行う。</p>	<p>PDCA課題解決サイクルを示し、学習課題設定の理由を確認しました。「自分のチームの課題を見付けたい」「もっと点を取るために、攻撃の練習が必要」という前時の意識を想起することで、課題の妥当性を感じていました。</p> <p>それぞれのチームの課題は違うから、データを分析して課題に合った作戦を見付けたい。</p> <p>学習課題：もっと得点を増やすために、チームに合った作戦を見付けよう</p> <p>ファーストリーグで収集してきた「得点」「攻撃回数」「パス回数」「パス方向」等の試合データを基に、「ランで前に進めていないから、攻撃回数が少なくなっている」「後ろ方向へのパスが多くなって、攻撃に時間がかかっている」などのチームの課題を捉えていきました。それらの課題を解決するために、どんな攻撃を行えばよいか、攻撃の約束事掲示板を用いて話し合っていました。自分のチームの課題に合った作戦になっているか、自分の考えた作戦とその理由を伝え合いながら、攻撃の仕方を約束事として共通理解し、考えを深めていきました。</p> <p>話し合った作戦を試合を行う中で試しながら、さらによりよい攻撃の仕方について考えながらプレーし、トライを決める姿が見られました。</p> <p>すぐにパスをもらえるように、ボールを持っている人の近くでサポートしていこうよ。</p> <p>パスは後ろに投げたら攻撃に時間がかかってしまうから、横のパスを増やしていけばいいと思うよ。</p>
<p>〈課題解決後〉 4 本時の振り返りをする。</p>	<p>本時の課題を解決する中で見付けた、タグラグビーの魅力について「する」「みる」「支える」「知る」の観点ごとに振り返っていきました（魅力発信リーフレット）。特に本時では、「みる」や「支える」の観点で仲間と協働することのよさに気づき、セカンドリーグへの意欲を高めていきました。</p> <p>ボールを持っている人の周りに行って、みんながサポートしながら攻撃してトライできました。</p>
<p>考察</p>	<p>課題を捉えて作戦を選択し、試合の中で試行錯誤する姿は見られたが、話し合った作戦が試合で上手くいったのかいかなかったのかを振り返り、次のゲームに生かす対話を設定することでメタ認知がさらに促されたであろう。</p>

